

AsciiDoc環境構築 手順書

K0.1, 2019/08/24

目次

- 1. 配布パッケージについて..... 1
- 2. 作業全体の流れ 2
 - 2.1. 作業① 2
 - 2.2. 作業② 2
 - 2.3. 作業③ 5
 - 2.4. 作業④ 5
 - 2.5. 作業⑤ 5

1. 配布パッケージについて

中身は以下の通り

```
AsciiDocInstallPackage/  
├ tool/                                // インストール用バッチファイル  
│   ├── ①chocolateyをインストール.bat  
│   ├── ②chocolateyのリポジトリから各種パッケージをインストール.bat  
│   ├── ③asciidoc関連ツールをインストール.bat  
│   └── ④VScodeの拡張機能をインストール.bat  
├ template/                            // 文章のテンプレート式  
│   ├── dist/                          // HTMLやPDFの出力先  
│   ├── fonts/                         // フォントファイルを格納  
│   ├── images/                       // イメージファイルを格納  
│   ├── style/                         // スタイルファイルを格納  
│   ├── make_html_test.bat             // AsciiDoc→HTML変換用スクリプト  
│   ├── make_pdf_test.bat              // AsciiDoc→PDF変換用スクリプト  
│   └── test.adoc                      // AsciiDocドキュメントのテストサンプル  
└ AsciiDocInstallManual.pdf           // 手順書
```

2. 作業全体の流れ

- ① Chocolateyをインストール
- ② Chocolateyのリポジトリから各種パッケージをインストール
- ③ AsciiDoc関連ツールをインストール
- ④ VSCodeの拡張機能をインストール
- ⑤ VSCodeで実際にAsciiDocを書いてみる

2.1. 作業①

以下のバッチファイルをダブルクリックで実行する

①chocolateyをインストール.bat

- ・ ユーザーアカウント制御の許可のポップアップが出るので **はい** をクリック
- ・ コマンドプロンプトが表示されて処理が進むので自動的に閉じたら完了

2.2. 作業②

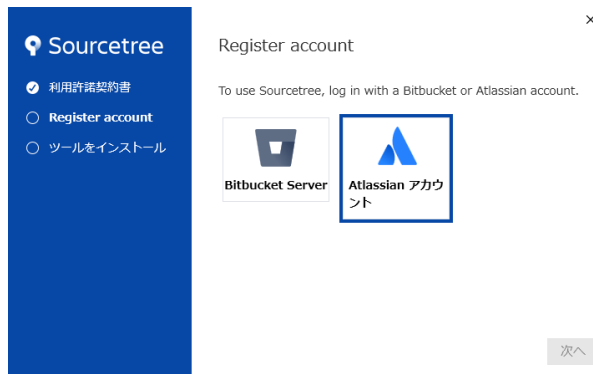
以下のバッチファイルをダブルクリックで実行する

②chocolateyのリポジトリから各種パッケージをインストール.bat

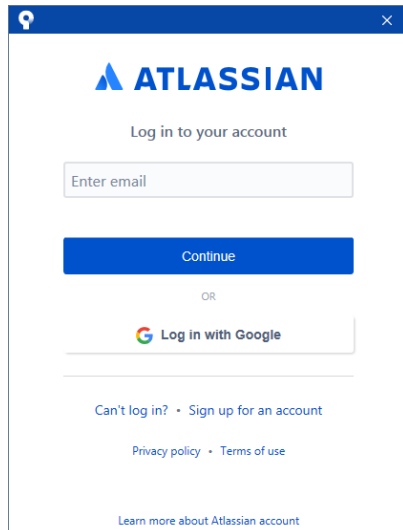
- ・ ユーザーアカウント制御の許可のポップアップが出るので **はい** をクリック
- ・ コマンドプロンプトが表示されて処理が進むのでしばらく待つ
- ・ 下記画面が表示されたら **ライセンスに同意します** にチェックを入れて **次へ** をクリック



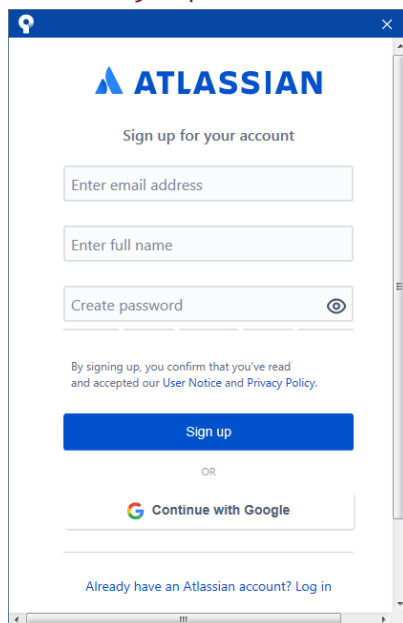
- ・ **Atlassianアカウント** を選択して **次へ** をクリック



- Enter email にメールアドレスを入力して Continue をクリック



- 続けて、Enter full name にニックネーム、Create password にパスワードを求められるので入力して、Sign up をクリック (※既にアカウントを持っている場合は通常のサインインを行う)



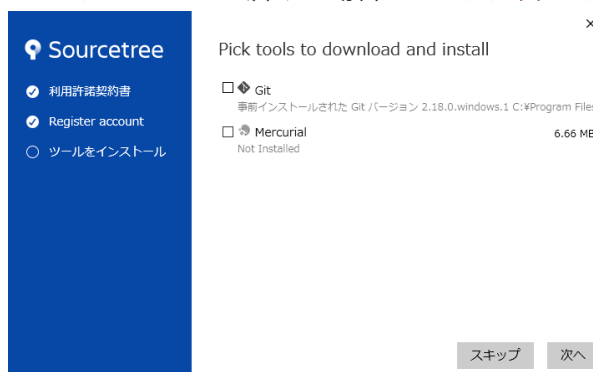
- reCAPTCHAの画像認証の指示に従って選択を行い、確認 をクリック



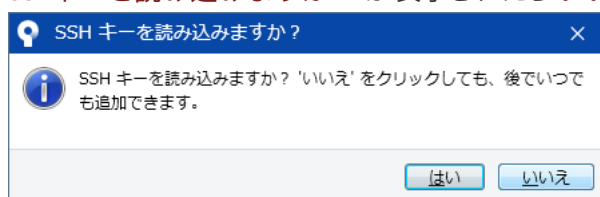
- 認証に成功すれば登録完了画面に遷移するので、**次へ** をクリック



- ツールのインストール画面に遷移するので **Git** にだけチェックを入れて、**次へ** をクリック (※既にGitをインストール済みの場合はそのまま **次へ** をクリック)



- **SSHキーを読み込みますか？** が表示されたら **いいえ** をクリック



- Sourcetreeが自動的に立ち上がったのが確認できたらアプリを一旦閉じる



- コマンドプロンプトの画面内にて、Atlassianアカウントを作成完了したか聞かれるので、完了していたら **y**、完了していなければ **n** を入力して *Enter* を押す
y の場合：コマンドプロンプトが表示されて処理が進むので自動的に閉じたら完了
n の場合：再度、*Enter* を押すとコマンドプロンプトが閉じる

2.3. 作業③

以下のバッチファイルをダブルクリックで実行する

③asciidoc関連ツールをインストール.bat

- コマンドプロンプトが表示されて処理が進むので自動的に閉じたら完了

2.4. 作業④

以下のバッチファイルをダブルクリックで実行する

④VScodeの拡張機能をインストール.bat

- コマンドプロンプトが表示されて処理が進むので自動的に閉じたら完了

2.5. 作業⑤

今回はテストサンプルを用意しています

プレビューやHTML/PDFへの変換のために必要なスタイルファイル等も整備したものを用意しています

ここでは、環境構築が正しくできたことを確認するための最低限の説明にとどめますので、あとはご自身でググってテキストベースの仕様書ライフを堪能しましょう! (どっかのサイトの受け売り)



文法リファレンス(日本語サイト)

<https://takumon.github.io/asciidoc-syntax-quick-reference-japanese-translation/>

templateフォルダをコピーする

このフォルダー一式が文章のテンプレートとなるので、必要に応じてコピーして文章作成に使う

VScode を起動する

AsciiDocで書くためのテキストエディタとして使用する

Windowsのスタートメニューから **Visual Studio Code** (以下、VScodeとする)を検索して起動する

テストサンプルを開く

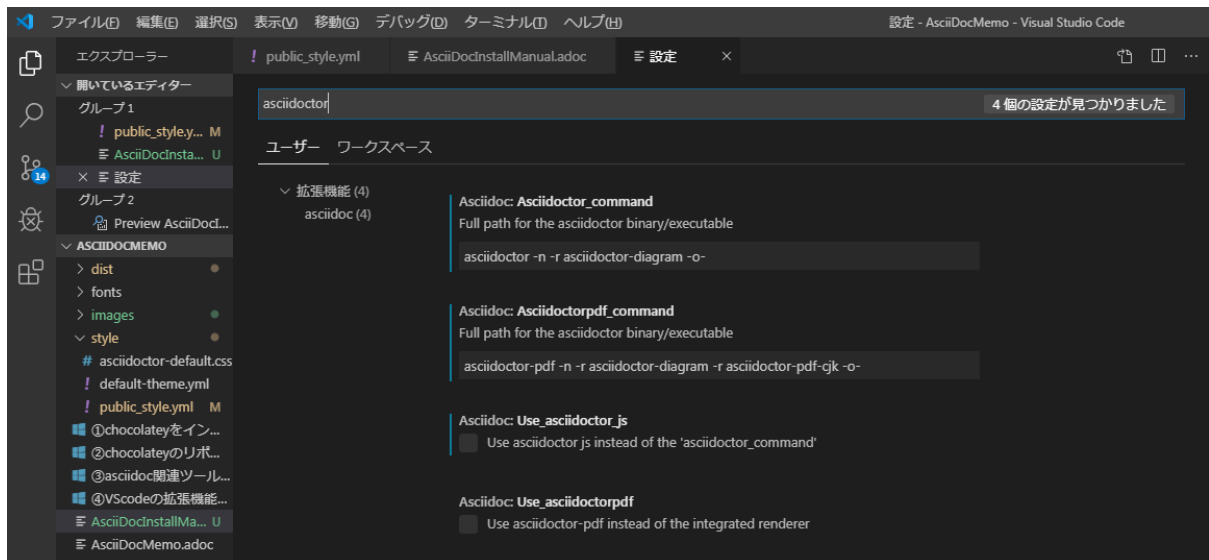
[ファイル]→[ファイルを開く]から **template** フォルダ内の **test.adoc** ファイルを開く

asciidocの設定を変更する

VScode上でプレビュー表示を行うための設定を行う

[ファイル]→[基本設定]→[設定]から **asciidoc** を検索し、以下の設定を行う

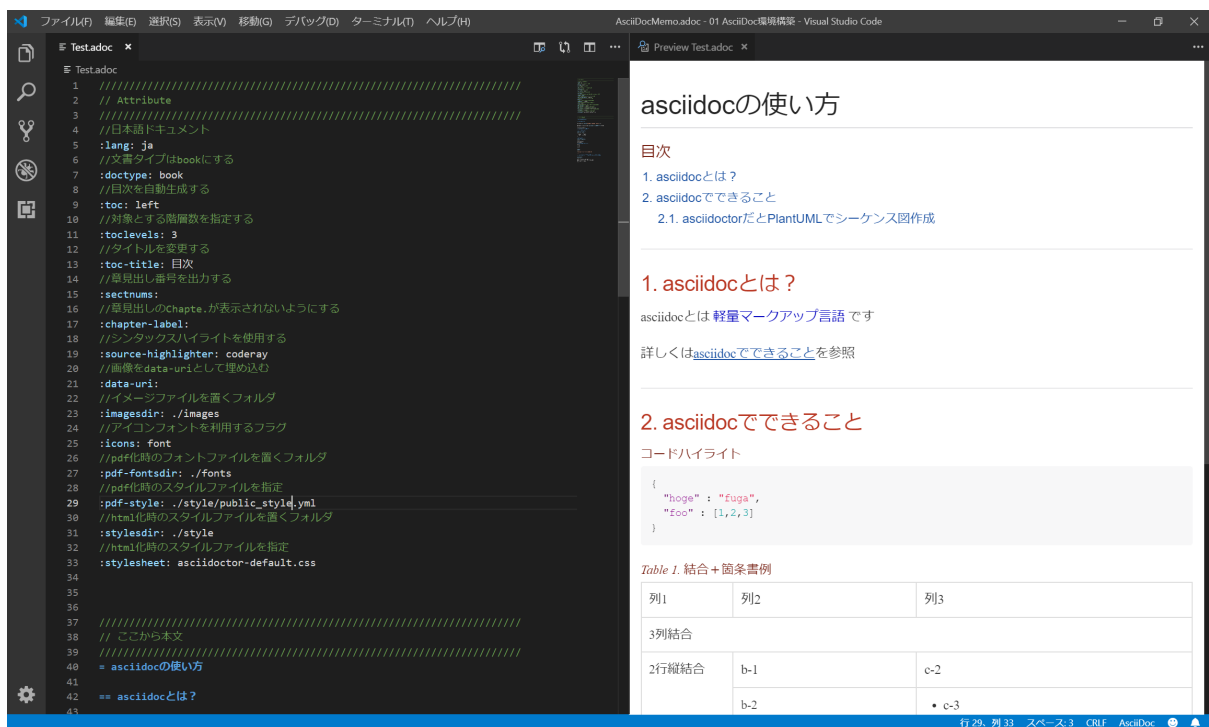
```
asciidoc_command : asciidoc -n -r asciidoc-diagram -o-
asciidocpdf_command : asciidoc-pdf -n -r asciidoc-diagram -r
asciidocpdf-cjk -o-
use_asciidoc_js : false(チェックを外す)
```



プレビューを行う

ショートカット `Ctrl+K → V` で画面右側にプレビューが表示される

参考までにテストサンプルのプレビュー結果を以下に示す



HTMLやPDFに変換する

以下のバッチファイルを実行するとHTMLに変換される
(**dist** フォルダに **test.html** が作成される)

```
make_html_test.bat
```

以下のバッチファイルを実行するとPDFに変換される
(**dist** フォルダに **test.pdf** が作成される)

```
make_pdf_test.bat
```

以上で終わりです!